

大阪府の在宅介護実態調査データの集計・分析結果〔追加集計〕

新たな視点で追加集計を行いました。集計テーマは以下の通りです。

- ①人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？
- ②(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？
- ③「在宅で生活が継続できる」と考えている要介護者の割合の地域ごとのバラツキは？
- ④「施設等の検討状況」の経年変化は？
- ⑤「主な介護者の就労継続の意向」の経年変化は？

令和4年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

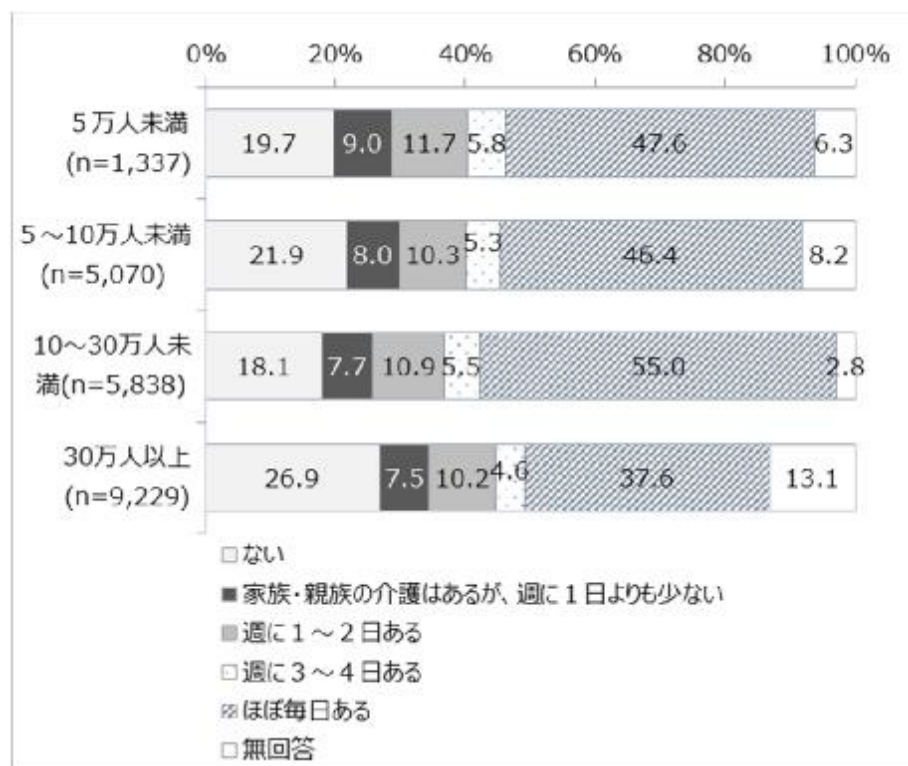


追加集計①: 人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？

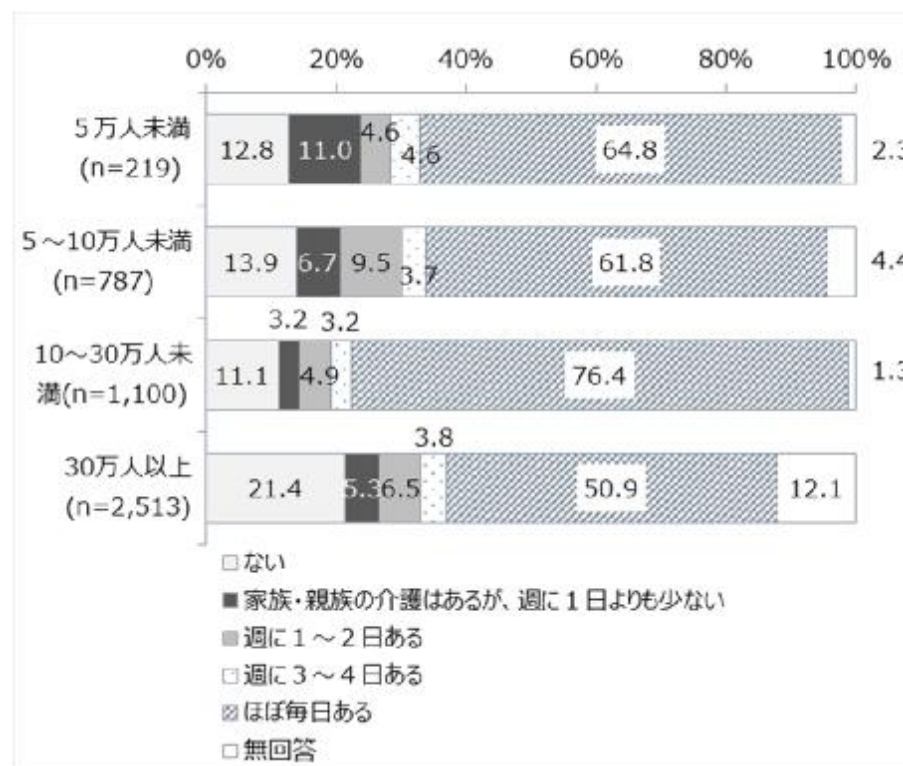
人口規模が大きいほど、家族等の介護の頻度はやや低くなる傾向

- n 人口規模別に家族等の介護の頻度についてみたところ、人口規模が大きいほど、家族等の介護の頻度はやや低くなる傾向がみられた。
- n 一方で、要介護3以上についてみた場合は、10~30万人未満で、家族等の介護の頻度がやや高くなっていた。

図表1 人口規模別・家族等の介護の頻度



図表2 人口規模別・家族等の介護の頻度(要介護3以上)

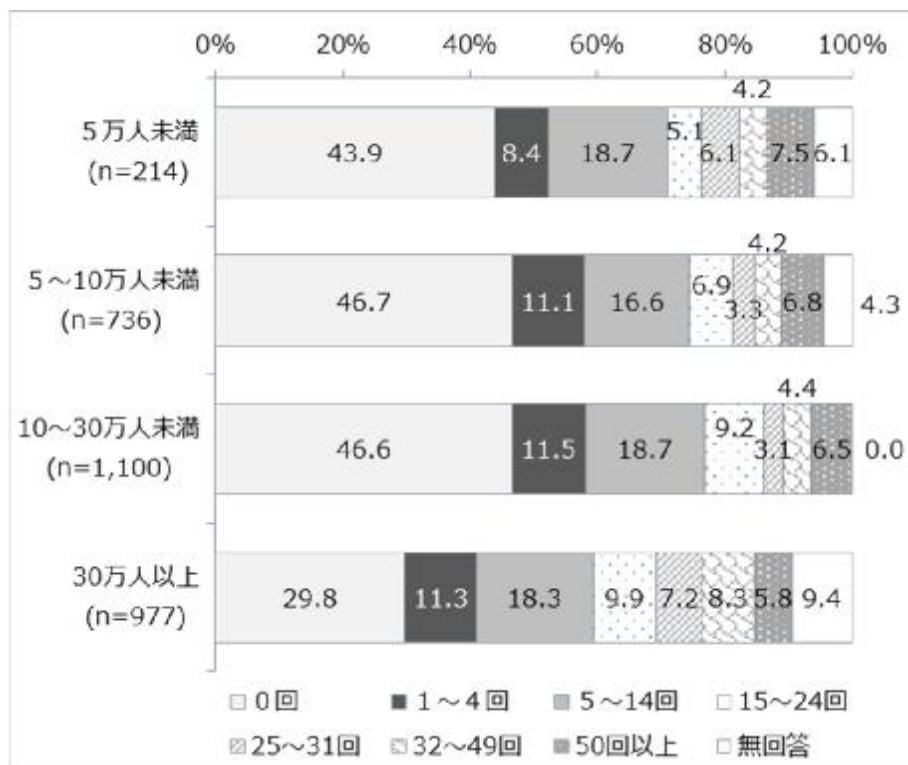


追加集計①: 人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？

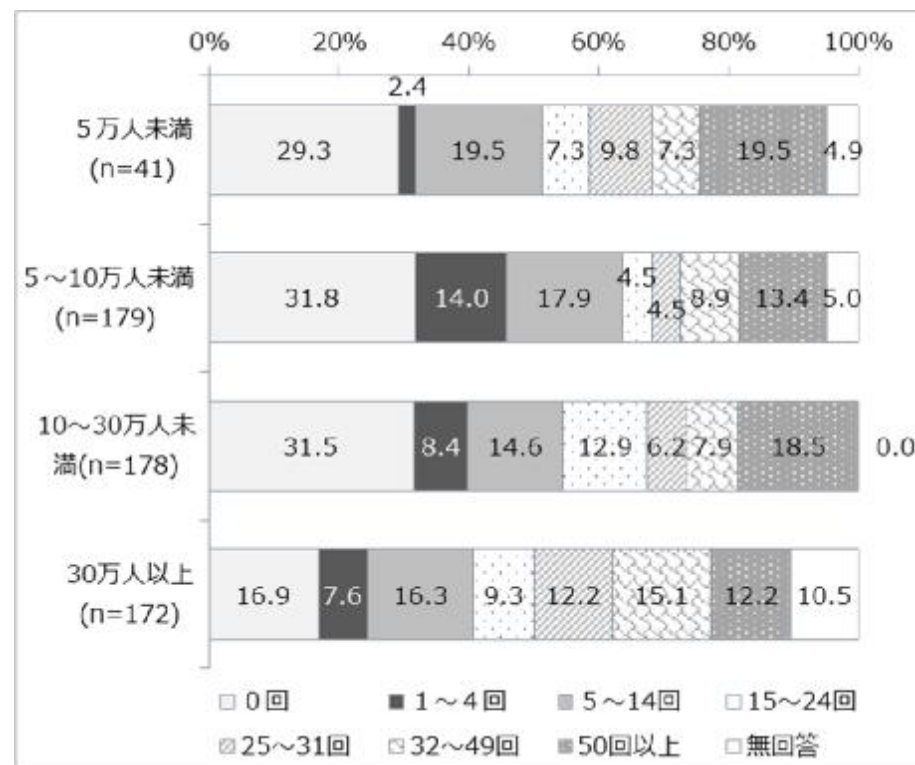
人口規模が大きいほど、訪問系サービスの利用回数が多くなる傾向

- n 人口規模別に訪問系サービスの利用回数についてみたところ、人口規模が大きくなるほど、サービス利用回数が多くなる傾向がみられた。地域ごとに介護サービスの資源量には濃淡があり、その結果がサービスの利用回数にも影響していることが考えられる。
- n なお、この傾向は、単身世帯においてより顕著である。

図表3 人口規模別・訪問系サービスの利用回数(要介護3以上)



図表4 人口規模別・訪問系サービスの利用回数(単身世帯・要介護3以上)

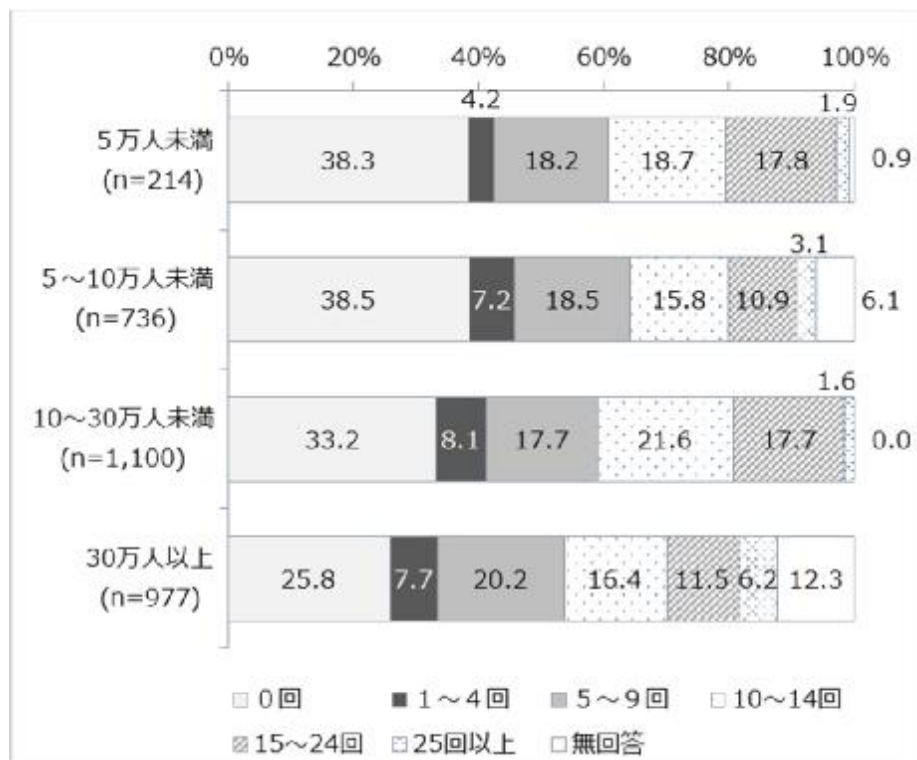


追加集計①:人口規模によって、家族等の介護の頻度・介護サービスの利用傾向に違いはみられるか？

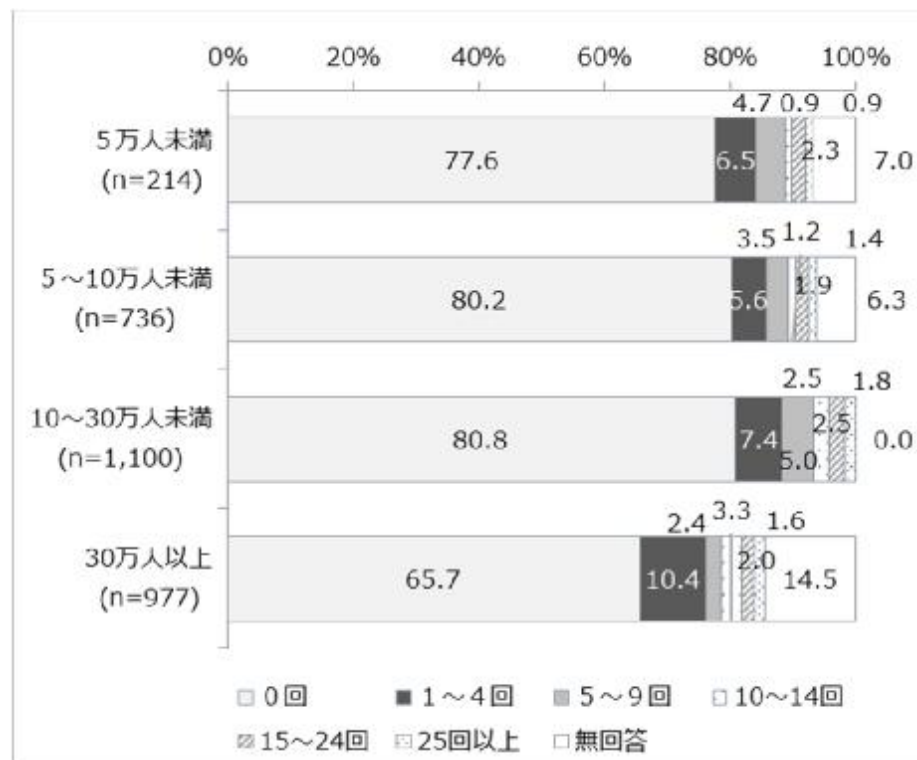
人口規模が大きいほど、通所系サービスの利用回数が多くなる傾向

- n 人口規模別に通所系サービスの利用回数についてみたところ、人口規模が大きくなるほど、サービス利用回数が多くなる傾向がみられた。
- n 短期系サービスでは、30万人以上でサービス利用回数が多くなっている。

図表5 人口規模別・通所系サービスの利用回数(要介護3以上)



図表6 人口規模別・短期系サービスの利用回数(要介護3以上)

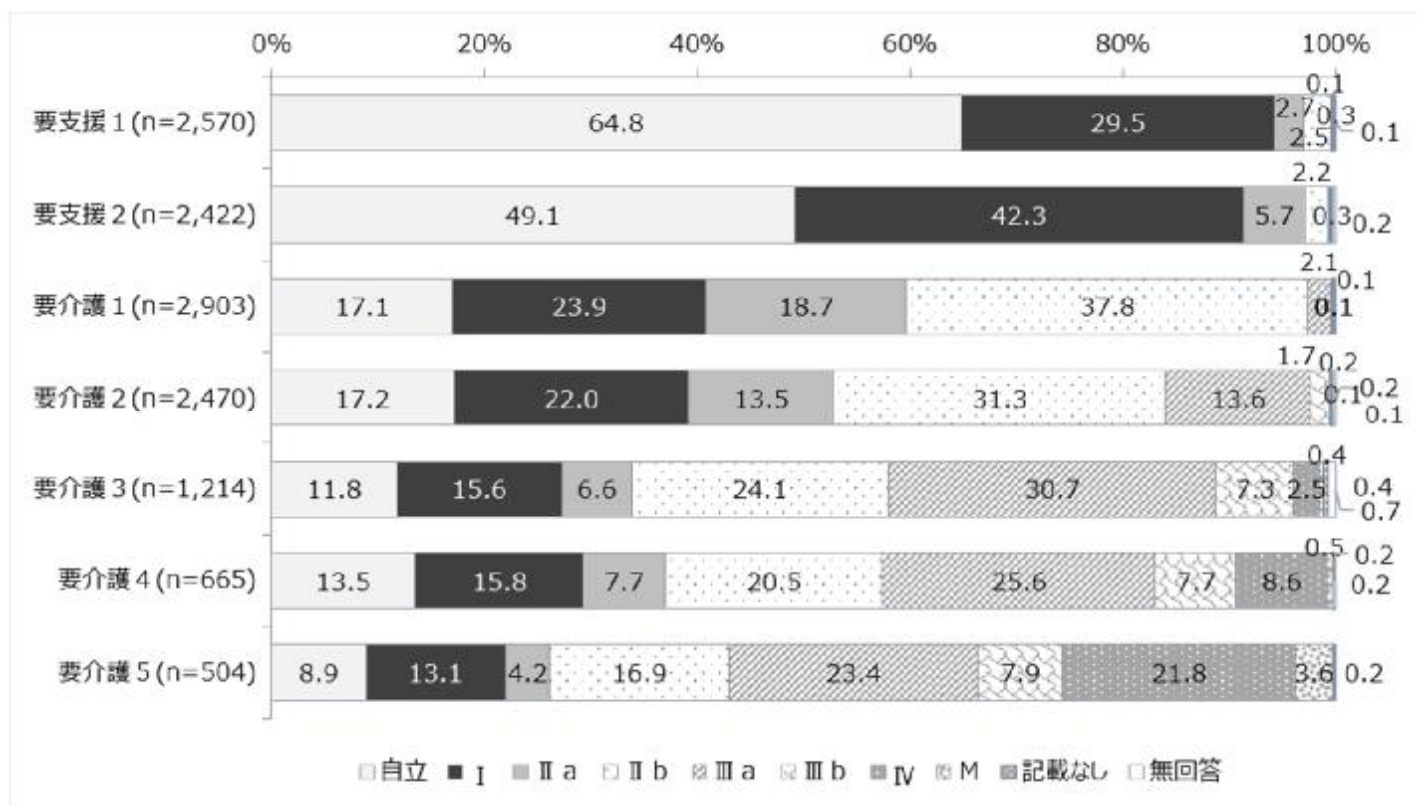


追加集計②: (認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

要介護度別の認知症高齢者の日常生活自立度

n 要介護度別の認知症高齢者の日常生活自立度をみると、Ⅱ以上の割合は、要支援1で5.3%、要支援2で8.1%、要介護1で58.8%、要介護2で60.4%、要介護3で71.6%、要介護4で70.4%、要介護5で77.8%だった。

図表7 要介護度別・認知症高齢者の日常生活自立度

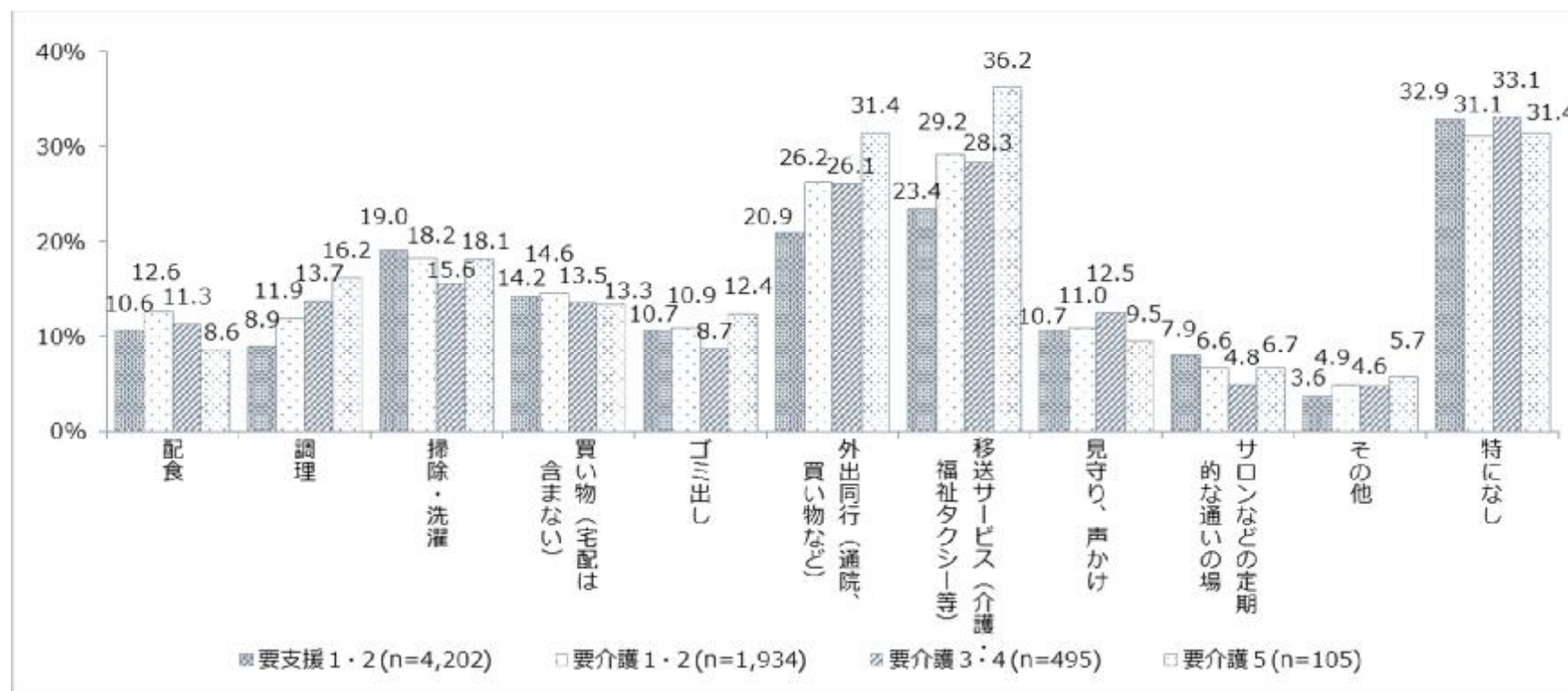


追加集計②：(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

認知症自立度 I 以下で「必要と感じる支援・サービス」は、「移送サービス」と「外出同行」が高い

- n 認知症自立度 I 以下について、「在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス」を要介護度別にみたところ、すべての要介護度で、他の項目と比較して「移送サービス(介護・福祉タクシー)等」もしくは「外出同行(通院、買物など)」の割合が高くなっていった。

図表8 要介護度別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(認知症自立度 I 以下)

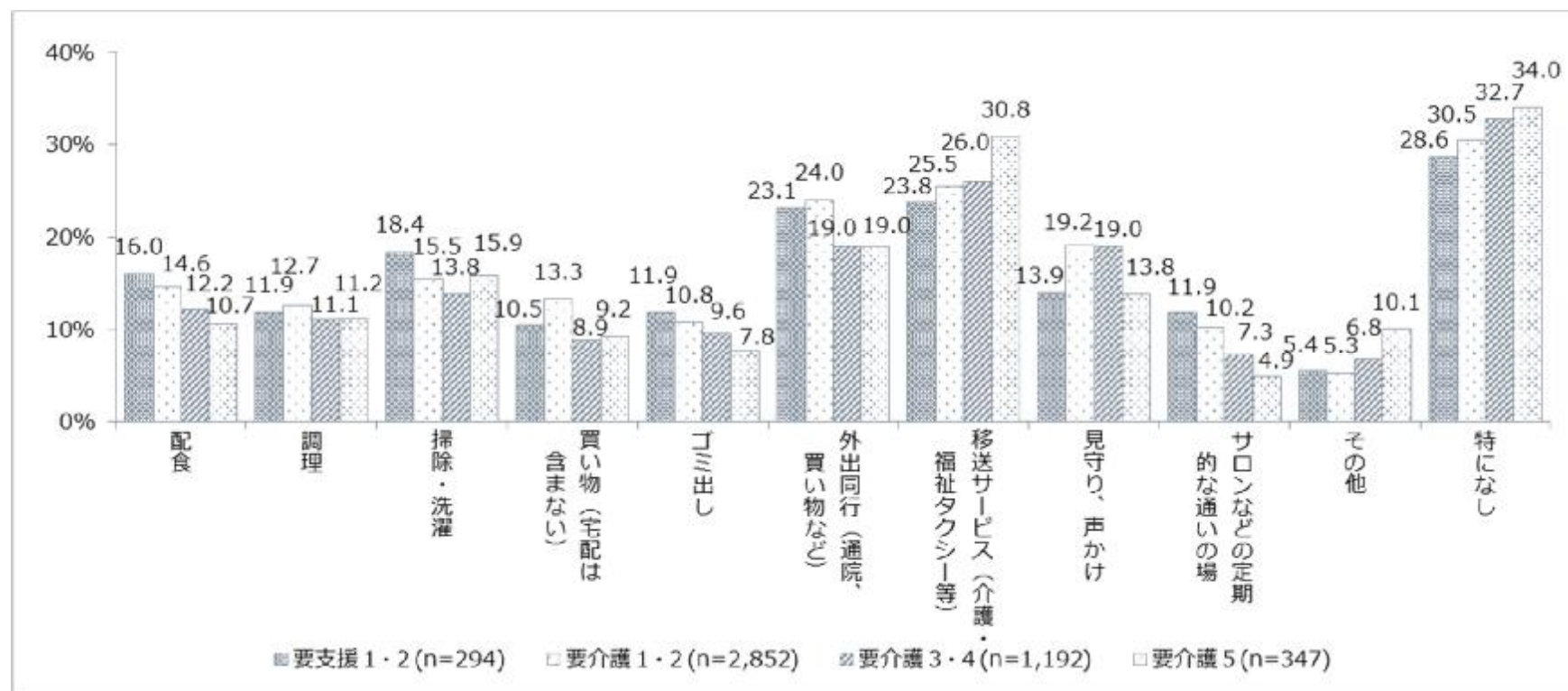


追加集計②: (認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

認知症自立度Ⅱ以上で「必要と感じる支援・サービス」についても、「移送サービス」と「外出同行」が高い

- n 認知症自立度Ⅱ以上について、「在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス」を要介護度別にみたところ、(前ページの)認知症自立度Ⅰ以下と同様に、すべての要介護度で、他の項目と比較して「移送サービス(介護・福祉タクシー)等」もしくは「外出同行(通院、買物など)」の割合が高くなっていた。

図表9 要介護度別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(認知症自立度Ⅱ以上)

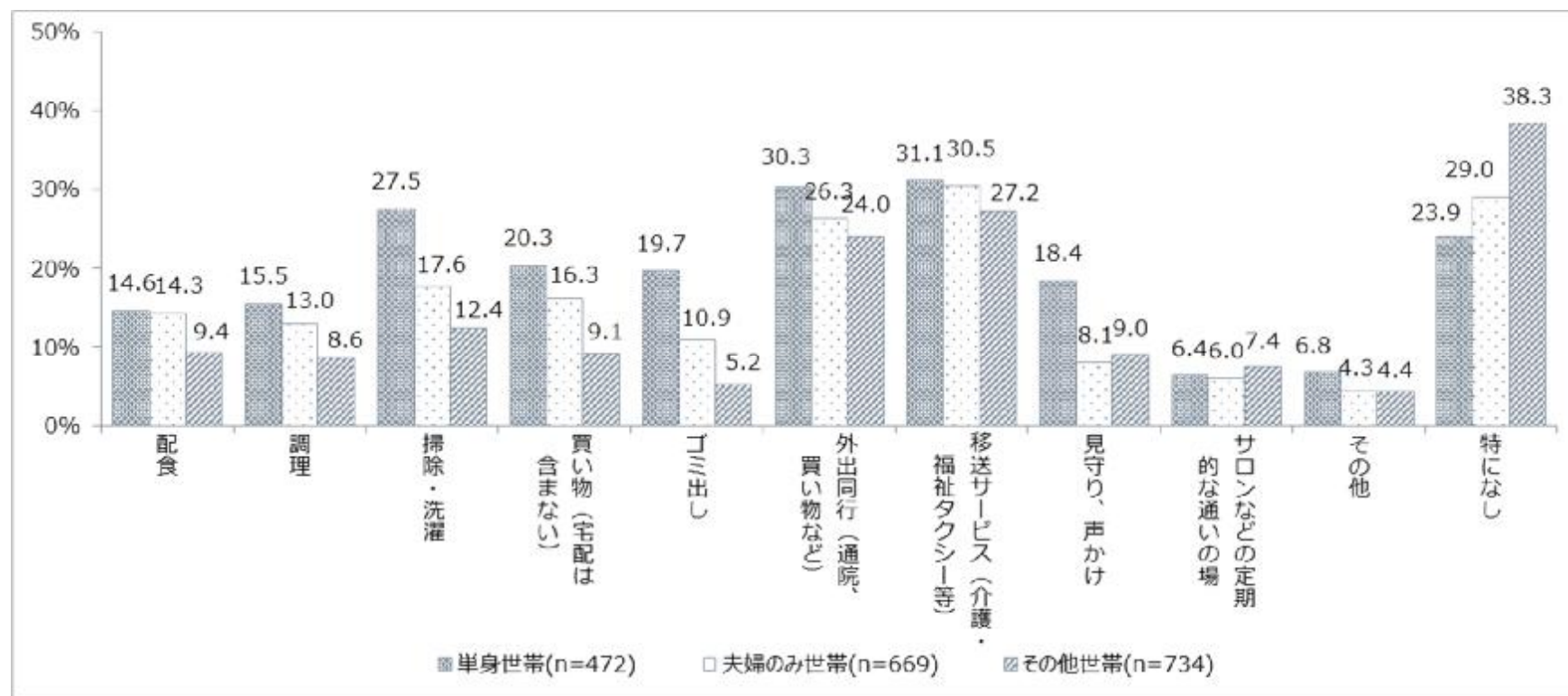


追加集計②：(認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅰ以下について、単身世帯では「移送サービス」「外出同行」「掃除・洗濯」のニーズが高い

- n 要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅰ以下について、世帯類型別に「在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス」をみたところ、「単身世帯」では、「サロンなどの定期的な通いの場」以外のすべての項目において、「夫婦のみ世帯」や「その他世帯」よりも割合が高く、ニーズが高い傾向がみられた。
- n また、「単身世帯」では、「特になし」の回答割合が、「夫婦のみ世帯」や「その他世帯」よりも低くなっており、ニーズが高い傾向がみられた。

図表10 世帯類型別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス (要介護1・2、認知症自立度Ⅰ以下)

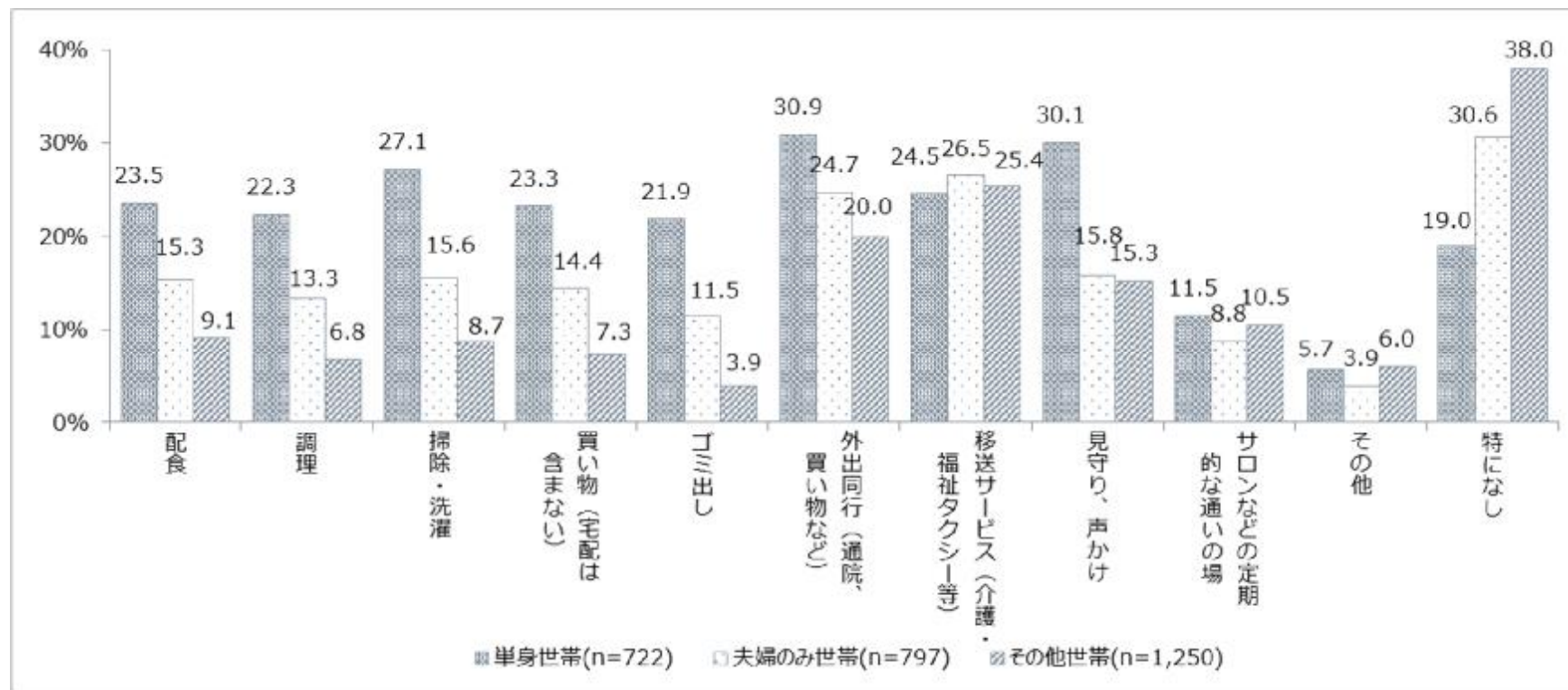


追加集計②: (認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅱ以上について、単身世帯では「外出同行」「見守り、声かけ」のニーズが高い

n 要介護1・2、かつ認知症自立度Ⅱ以上について、世帯類型別に「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」をみたところ、「単身世帯」では、「外出同行」「見守り、声かけ」のニーズが高い傾向がみられた。

図表11 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(要介護1・2、認知症自立度Ⅱ以上)

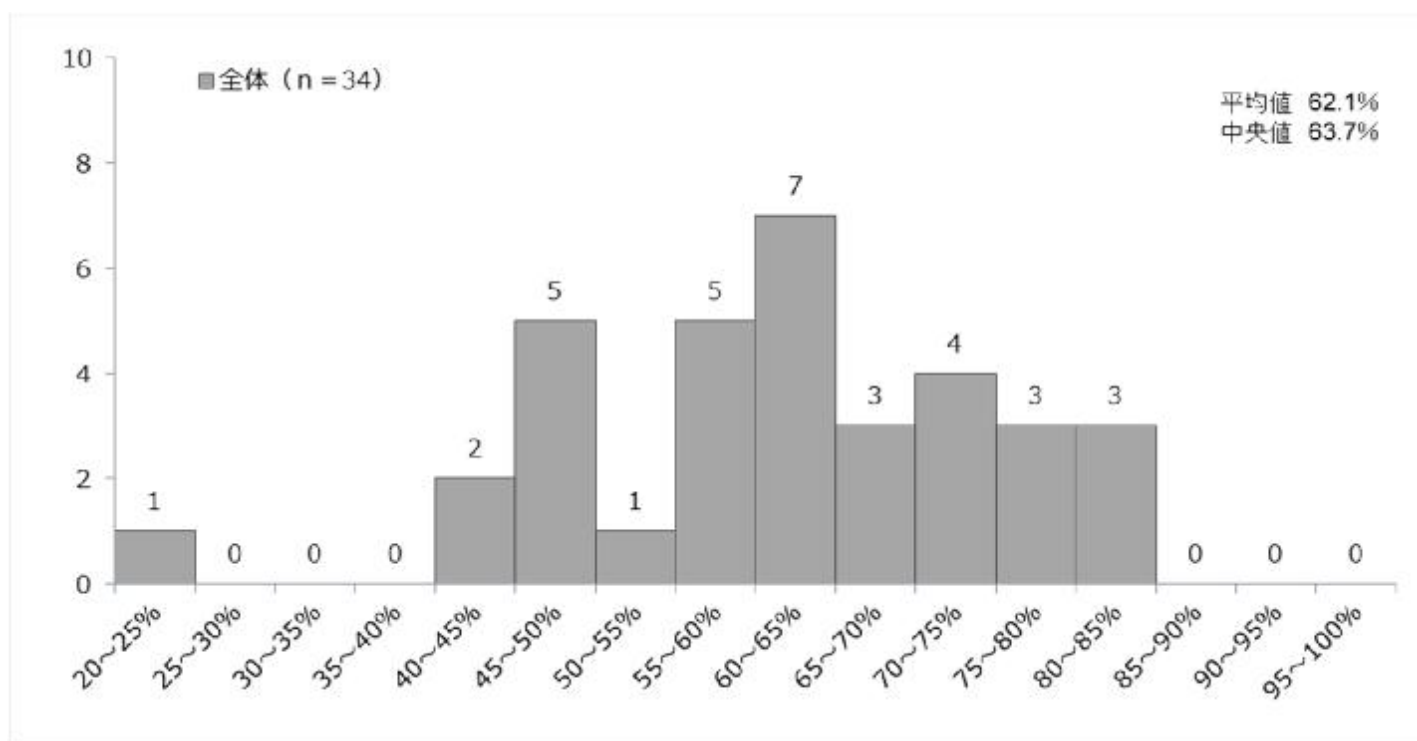


追加集計②: (認知症自立度別の)在宅生活の継続に必要な保険外の支援・サービスは？

「施設等を検討していない人」の割合(要介護3以上)は、平均値は62.1%、中央値は63.7%

- n 調査対象者(要介護3)に占める「施設等を検討していない」人の割合についてみたところ、最も多いのは「60～65%」の7自治体、次いで「45～50%」、「55～60%」の5自治体、「70～75%」の4自治体だった。
- n また、平均値は62.1%、中央値は63.7%だった。

図表12 施設等「検討していない」割合別の自治体数(要介護3以上)



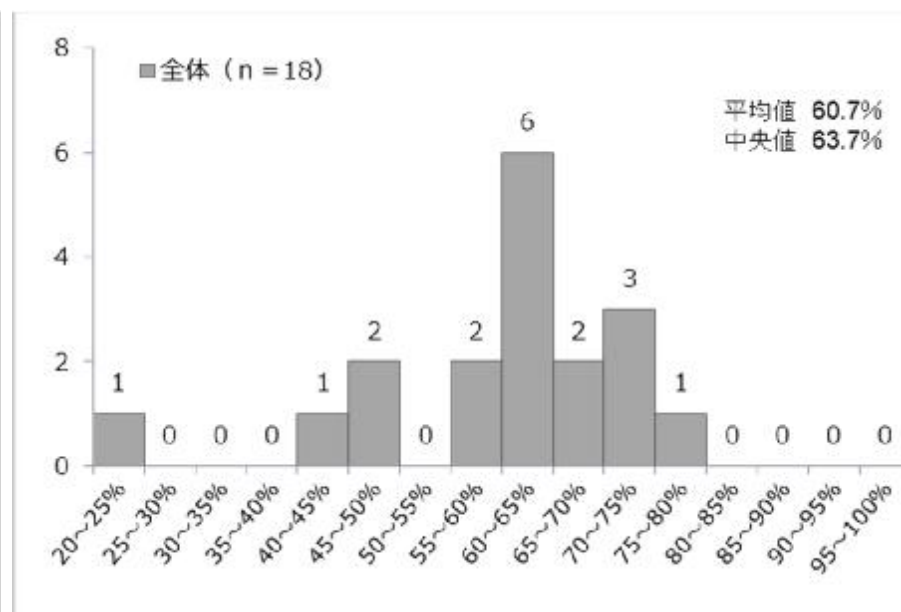
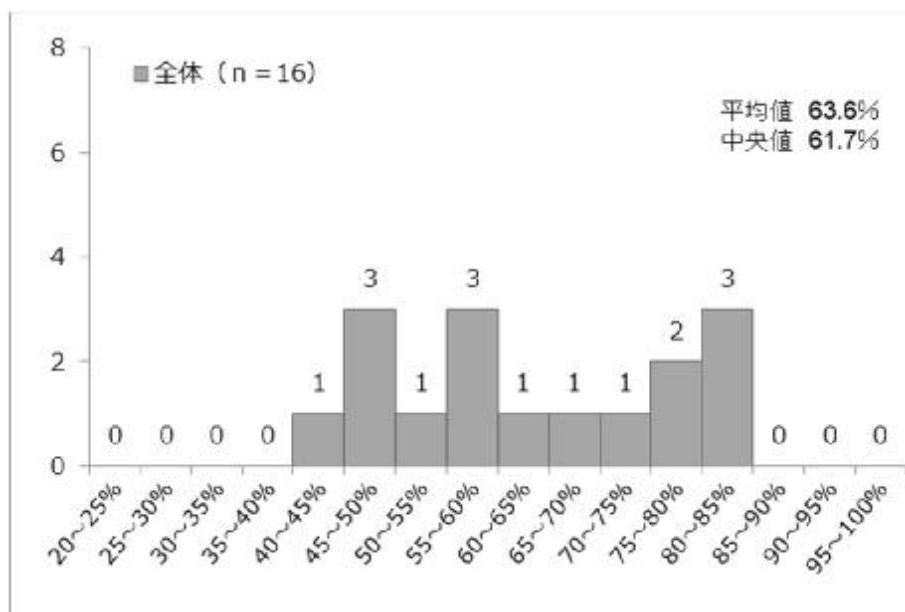
追加集計③:「在宅で生活が継続できる」と考えている要介護者の割合の地域ごとのバラツキは？

「施設等を検討していない人」の割合(要介護3以上)は、人口規模10万人以上の方がやや高い

- n 調査対象者(要介護3)に占める「施設等を検討していない」人の割合についてみたところ、人口規模10万人未満の自治体では、「45%~55%」、「55%~60%」、「80~85%」が最も多く、10万人以上の自治体では「60%~65%」が最も多くなっていた。
- n また、人口規模10万人未満では平均値は63.6%、中央値は61.7%、人口規模10万人以上では平均値は60.7%、中央値は63.7%だった。

図表13 施設等「検討していない」割合(要介護3以上・10万人未満)

図表14 施設等「検討していない」割合(要介護3以上・10万人以上)



※41保険者のうち、調査対象者数0の7保険者を除いて集計